エコミュージアム
(池田市立3R推進センター)
の活動報告

＜指定管理者＞
NPO法人いけだエコスタッフ
理事　　片岡　千秋

2020年4月　中央公民館1階に移転しました

—IKEDA—
ECO MUSEUM
エコミュージアム
市民のみなさんが
くらしの中でムリなく
楽しくできるエコを
提案・実践しています

エコミュージアムは、3R＝リデュース（ごみを減らす）・リユース（ものを繰り返し使う）・リサイクル（ごみを資源として再利用する）を日常で実践できる施設です。
池田市立 3R 推進センター

エコミュージアムの

食・ごみ・エネルギーの地域循環プロジェクト

キーワードは「地域循環」

3R

◇乾燥生ごみの地域内循環

◇使用済み天ぷら油の地域内循環

◇リサイクル資源の回収

◇不用品のマッチングサービス

◇リユース品の地域内循環

食

◇「いけだ野菜」のブランディング

◇LED水耕栽培野菜の試験生産

◇食の地産地消とフードロスの削減

◇フードドライブによる食の地域内循環

マッチング

◇環境講座の実施

◇環境関連イベントの実施

◇出張！エコミュージアム

◇環境とSDGsの交流スペース運営

◇環境とSDGsのギャラリースペース運営

◇リユース食器のレンタル

◇EV自動車のシェアリングサービス(秋以降)

シェアリングエコノミー

◇再生可能エネルギーの普及啓発

エネルギー

池田版SDGsの実現

「SDGs」とは、国連で定められた2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標です。エコミュージアムでは〝池田版SDGs〟を実現するため、特に下記を目標に掲げています。

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
7. エネルギーをみんなに　そしてクリーンに
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任　つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
15. 陸の豊かさも守ろう
17. パートナーシップで目標を達成しよう

SDGsは国際社会の目標ですが、そのためには私たちの1歩がとても大切です。

「では何から始めたらいいの?」そんな疑問がうかんでも大丈夫！エコミュージアムでは展示・体験をとおして、さまざまな環境活動に無理なく参加できます♪

2030年、そしてその先の未来へ美しい地球の資源を残すためには、自分ごととして、日々の行動を意識していく必要があります。エコミュージアムでは、考えるきっかけとなる〝場〟をみなさんと一緒に作っていきたいと思います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

３Ｒ　リユース品の地域内循環

不要になった服・着物・かばん・食器など寄付いただきました品物は、
館内およびイベント等にて販売し、リユース（くり返し使う）させて頂きます。
その売上金は、エコミュージアムでの活動に活用し、池田市の環境保全に役立てます。

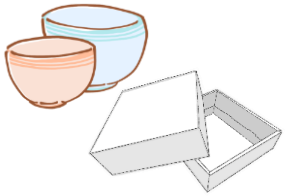
寄付いただいた数（2021年4月～2022年2月）

衣類　7,532枚　⇒約28トンのCO_2削減に

和　　服　476枚
和装小物　428点

寄付品の受付
毎週 水曜日と日曜日

かばん　684個



食器　294個

３Ｒ　リサイクル資源の回収と地域循環

回収した量（2021年4月～2022年2月）

天ぷら油　2,530ℓ

回収した天ぷら油は、廃油のリサイクル会社へ売却し、その後バスやゴミ収集車などの燃料（BDF/バイオディーゼル燃料）としてリサイクルされます。

一部の小学校でもPTAのみなさまのご協力により回収しています。

回収している小学校	実施日時
・ほそごう学園 ・五月丘小学校 ・石橋小学校 ・石橋南小学校	毎月第3水曜日　10時～12時 ※8月、3月はお休み

※小学校での回収は、天候や感染症拡大等の都合により中止や日程が変更されることがあります。詳しくはお問い合わせください。

ペットボトル・キャップ　240kg

回収したキャップは、池田・東山作業所（知的障害者通所授産施設）にお渡しし、更に分別された後にリサイクル業者に渡されプランターなどの花材となります。

そのリサイクル費用は東山作業所の活動資金となります。

３Ｒ　リサイクル資源の回収と地域循環

回収した量（2021年4月～2022年2月）

プルトップ　50kg

回収したプルトップは池田の理容組合にお渡しし、その後リサイクル業者へ渡されます。
その費用で 車いすを購入、寄贈されています。

「乾燥生ごみ」も回収しています！

池田市内または近郊にて園芸用の肥料等として活用し、食品残さを地域内で循環させます。

食　食の地産地消とフードロスの削減

池田市内や近郊で生産された野菜やお米などを販売しています。

≫

◆ 生産地からエコミュージアムまでクルマで運ぶ時のCO_2を減らす

◆ 食べてもらうことで地域の農産物の廃棄量を減らす

◆ 食べてもらう＝応援することで、生産者さんを増やしていく、安定して食料品を確保する（災害などの非常時でも農作物が食べられるように）

いけだ野菜 IKEDA VEGETABLE

ほくせつ野菜 HOKUSETSU VEGETABLE

- **細河の新鮮野菜市**（毎週 水曜日）
- **みのおの無農薬・無化学肥料有機野菜市**（毎週 金曜日）
- **神田の低農薬野菜市**（毎週 金曜日）
- **豊能町 牧・里山の野菜市**（第3木曜日）

など

時季によっては野菜の収穫量が減るため、休む場合があります。

食　フードドライブによる食の地域内循環

不要になった食品を寄付していただき、必要な方々に活用してもらいます。

⌄

◆寄付⇒エコミュージアム⇒活用　を小さい範囲で行うと、運ぶ時のCO_2が減る

◆食品の廃棄量を減らすことで、焼却処分で出るCO_2を減らす

◆地域の活動を応援することで、地域の課題解決につながる

子ども食堂、おとな食堂、
社会福祉協議会を通じて
支援団体などで活用

寄付いただいた数（2020年10月開始～2022年2月）

316品　　寄付いただいた方　**79名**

食　フードドライブによる食の地域内循環

眠っている・余っている食品がありましたら、
ぜひご寄付ください！

回収している食品	回収できない食品
・消費・賞味期限が回収日より約４か月以降の未開封の食品 ・お米（白米・玄米・アルファ米） ・パスタ、素麺などの乾麺 ・缶詰、レトルト食品、インスタント食品 ・お菓子 ・調味料（醤油、食用油、味噌など）	・消費・賞味期限が条件外となる食品 ・消費・賞味期限が明記されていない食品（砂糖、塩は可） ・開封されているもの ・生鮮食品（生肉、魚介類、生野菜） ・アルコール（みりん、料理酒は除く）

エネルギー

再生可能エネルギーの普及啓発

いけだ市民共同発電所（ふくまる発電）の設置

市民共同発電とは…… 市民の、市民による、市民のための再生可能エネルギーをつかった発電所のこと。
池田では、上記❶❷❸の方法で、市民が様々な生活シーンで関わることができます。

ふくまる発電５号機
.13kW　平成30年3月

号機「ふくまるの家」
4年１月完成　540万円

ふくまる発電４号機　きたてしま
10.2kW　平成27年3月完成　68

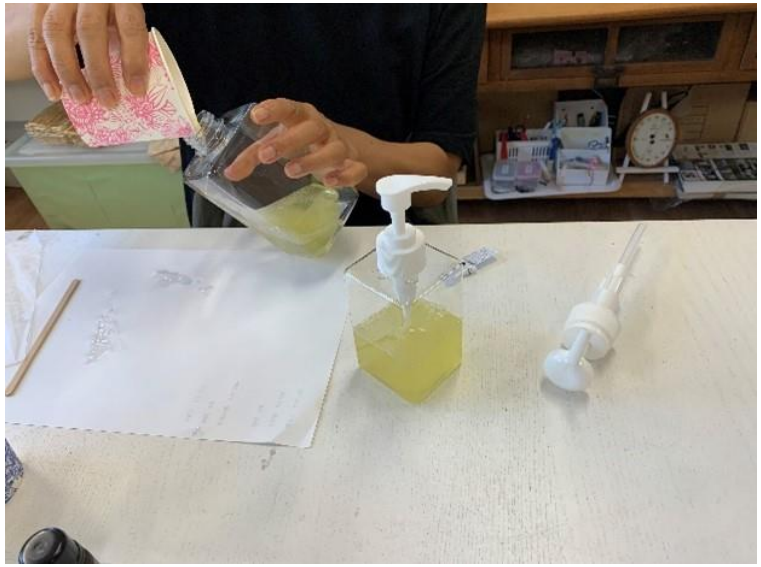
くまる発電２号機　池田市中央公
10kW　平成26年2月完成　861万

くまる発電３号機　石橋・赤い橋
80W　平成26年3月完成　399万

シェアリング

環境とSDGsの交流＆ギャラリースペース

SDGsについて「知る・考える・探究する・やってみる」を
実践している方々へ、無料で場所を提供しています。

マッチング

環境講座や環境イベントの実施